

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

これからの教員養成のモデルを提示
「教育デザインセンター」開設記念シンポジウムを開催
～教員養成の質保証と地域社会の教育力の向上へ～

- 横浜国立大学の教育学研究科が改編されます。これに伴う附属教育デザインセンターの設置は、全国的にも先進的な取り組みであると同時に、これからの教員養成のモデルを提示するものとなります。
- 教育デザインセンターは教員養成の全学的な質保証と地域社会の教育力の向上のため、学内外の関係諸機関との連携など、広範的且つ実践的な対応をします。
- 教育デザインセンターの開設を記念して「都市型総合大学における教育デザインセンターを活用した教員養成」をテーマとしたシンポジウムを開催します。

■文部科学省、東京大学からシンポジストが参加■
教育デザインセンター開設記念シンポジウム

●シンポジウムの概要

※日 時：平成 22 年 9 月 12 日(日)午後 2 時より 5 時まで

※場 所：岩崎学園ホール(横浜駅西口 岩崎学園ビル 8 階)

※テーマ：「都市型総合大学における教育デザインセンターを活用した教員養成」

【趣 旨】

教育実践総合センターの教育デザインセンターへの改編を機会として、改編の意義、附属(地域)学校との連携、学部・大学院における教員養成、総合大学における教員養成の計画養成と開放制の関係、横浜スタンダードの活用など、横浜国立大学の教員養成の方向性を踏まえた都市型総合大学における「デザインセンター」の意義について広範なシンポジウムを行うことによって、全国の教員養成の関係者に対して、横浜国立大学から新たな教員養成の取り組みについて発信を行う。

※シンポジスト

文部科学省高等教育局大学振興課教員養成企画室室長 渡邊 倫子 氏

東京大学大学院教育学研究科教授 本田 由紀 氏

横浜国立大学教育人間科学部教授 海老原 修 氏

横浜国立大学教育人間科学部教授 三宅 晶子 氏

<コーディネーター>

横浜国立大学教育デザインセンター 高木 展郎

【別途、参考資料をご覧ください】

本件に関するお問い合わせ先

横浜国立大学 教育人間科学部附属教育デザインセンター

センター長 高木展郎

電話 045-339-3484 e-mail nobuo@edhs.ynu.ac.jp

横浜国立大学教育人間科学部附属

教育デザインセンター設置とその意義

1. 横浜国立大学教育人間科学部附属教育デザインセンターの設置の意味

横浜国立大学の教育学研究科の改編、附属教育デザインセンターの設置は、全国的にも先進的な取り組みであると同時に、これからの教員養成のモデルを提示するものであって、教員養成における本学の先進性を全国的に発信しようとしています。

横浜国立大学教育人間科学部、教育学研究科が行おうとしている「社会との連携や社会貢献に関する目標（大学の教育研究資源を活用した社会連携と社会貢献）」及び「附属学校に関する目標（大学・学部、地域との連携、学校運営の改善）」の観点から、附属学校や付属施設を用いた教員養成のモデル形成は、地域や社会に対する貢献・連携にとって大きな意義をもつとともに、本学の掲げる「先進性」にも合致します。

このような状況の中で、横浜国立大学教育人間科学部附属教育デザインセンターは、都市型総合大学として、これからの時代に向けて教員養成をいかに行うか、計画養成の充実と、開放性における教員養成をいかにしていくべきかを、教員養成以外の他学部との連携の中で、その位置づけをハブとしていかに機能させることができるかが、問われています。

2. 横浜国立大学教育人間科学部附属教育デザインセンター設置の目的と内容

横浜国立大学教育人間科学部附属教育デザインセンター（以下、教育デザインセンター）は、教員養成の全学的な質保証と地域社会の教育力の向上のために、学内外の関係諸機関との連携のもとに、教員養成と教育実践について研究及び運営の統括など組織的な対応を行うことを目的として設立されました。

教育デザインセンターは、次に掲げる業務を行うものであります。。

- (1) 教員養成及び教育実践に関する研究及び運営の統括
- (2) 教員養成カリキュラムに関する研究及び運営の統括
- (3) 教員養成及び教育実践に関する研究成果の公表
- (4) センターの業務に係る委員会の統括に関する業務
- (5) その他センターの目的達成に必要な業務

これらの業務を遂行するために、次の部門が置かれています。

【実践デザイン部門】

教員養成及び教育実践に関する研究と教員養成に関する委員会等の運営の統括を行います。

【研究デザイン部門】

教員養成カリキュラムに関する研究とそれに関わる委員会等の運営の統括を行います。

《教育デザイン研究会》

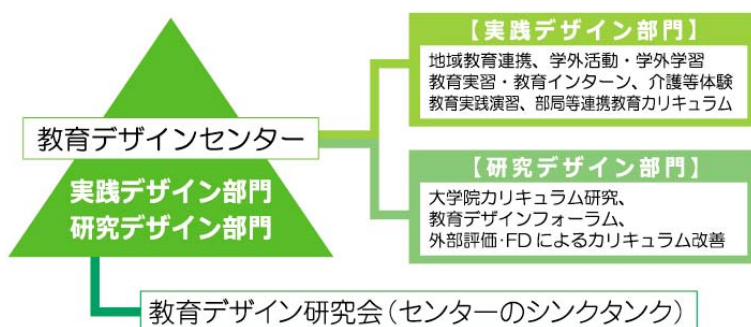
教育デザインセンターのシンクタンクとして、教育デザイン研究会を置いていません。教育デザイン研究会の目的とテーマは、以下のものです。

- ・ 大学教員・学生・初等中等（小中高、特別支援の各学校）教諭が協力し合い、学校現場における実践活動による検証を行いつつ、現代・近未来社会のための新しい教育法の提案や、現状分析といった研究活動を行う機関である。

従来実現しにくかった大学教員・学生・初等中等教諭三者連携による、あくまでも教育現場に即した「独創的な教育デザイン」の研究、検証、公開の場である点に特色がある。

- ・ 大学・附属学校・地域・社会との連携拠点であり、新教育学研究科で行う先見的な教育・研究の成果を発信し、外からの情報を収集・公開する、教育に関する最新情報のハブとしての機能を担うことになる
- ・ 学部教育においても、4年間を通して、様々な形で行う教育実習を核として、現場に有用な教員養成を目指す方向で、カリキュラム改定を行いつつある。その学部教育と、大学院における研究・教育を統合し、それぞれが相互に補完し合って円滑に教育・研究活動ができるよう、指導的な役割や、きめ細やかな調整も行っていくための拠点でもある。

【教育デザインセンターの組織】



【教育デザインセンターハブモデル】

